

飼育水に含まれるコロイド状物質がウナギ仔魚の飼料となる可能性

メタデータ	言語: Japanese
	出版者:
	公開日: 2024-08-06
	キーワード (Ja):
	キーワード (En):
	作成者: 増田, 賢嗣, 奥, 宏海, 野村, 和晴, 照屋, 和久, 田中, 秀樹
	メールアドレス:
URL	所属:
	https://fra.repo.nii.ac.jp/records/2010479

This work is licensed under a Creative Commons Attribution 4.0 International License.



飼育水に含まれるコロイド状物質がウナギ仔魚の飼料となる可能性

増田賢嗣・奥 宏海・野村和晴・照屋和久・田中秀樹

サメ卵主体液状飼料の開発と改良はシラスウナギまでの飼育を可能とし、研究の焦点はシラスウナギの大量生産法の確立に移っている。そのためには、大量生産への応用が困難な現行の給餌法を改良する必要があり、特に中層で給餌できる方法の開発が求められている。飼料が飼育水全体に拡散したコロイド型飼料はこの要請に応えられる可能性がある。本研究では、コロイド型飼料のモデルである海水希釈牛乳で満たされた水槽中では、牛乳が一定濃度以上で、十分な摂餌時間があればウナギ仔魚は摂餌でき、また一定期間生存できることを明らかにした。

水産技術, 2 (2), 99-104, 2010